

平成30年度 北狩野ケアセンター

小規模多機能型居宅介護

サービス評価

◆自己評価

事業所自己評価・・・・・・・・・・・・・・・・（事-①～⑨）

◆小規模多機能型居宅介護「サービス評価」総括表

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 30 年 10 月 22 日 (16 : 00~17 : 00)

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー 大川 (祐)・伊賀・川井・斉藤・渡辺・小澤・鈴木・美幸
平山・大川 (尚)・坂庭・美千代・正田・山本

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0	3	7	4	14人

前回の改善計画
新規利用者の初回利用前には、情報を整理しミーティングを行いスタッフが周知できるようにする

前回の改善計画に対する取組み結果
ミーティングを実施出来ず、ケアマネのフェイスシートのみで情報を周知したミーティングをしている時間がない。
急な利用開始者が多くミーティングは行われていない。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	0	3	5	6	14
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	1	9	4	0	14
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	3	11	0	0	14
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	1	8	5	0	14

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
施設に慣れない間は少しでも不安を取り除くため、できる限り本人のそばに寄り添い対応している。
初回利用者様には自己紹介を含め声かけがしている
朝・昼・夕に申し送りという形で次の勤務者に情報を伝えることはできている
ヘルパー時連絡ノートでその日の様子を伝えて介護者に安心感を感じてもらっている。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
積極的にミーティングを開くことができなかった。
家族との関わりが少なく関係作りができていない。フェイスシート以外の細かい情報が把握できなかった
情報量が少なく手探りな上、共有する場が持っていない。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)
ミーティングの開催時間、主に進行する人を明確にする。
利用前に決まったこと・特に注意が必要な事項は申し送りノートに記載し全員が印をつけることで確認する。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成30年10月22日(16:00～17:00)

2. 「～したい」の実現(自己実現の尊重)

メンバー 大川(祐)・伊賀・川井・斉藤・渡辺・小澤・鈴木・美幸
平山・大川(尚)・坂庭・美千代・正田・山本

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0	1	7	6	14人

前回の改善計画	週1回ミーティングが出来る体制を作る 職員の継続した支援が出来るように、職員間の情報共有とともに、見える化できるツール作り
前回の改善計画に対する取組み結果	週1回のミーティングができない

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	「本人の目標(ゴール)」がわかっていますか?	0	10	4	0	14
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	0	10	4	0	14
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	0	5	6	3	14
④	実践した(かかわった)内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	0	2	8	4	14

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること 担当利用者の目標は最低限把握し対応している。 本人ができることを探し支援している。やりたいことが見つけられるよう関わりをもっている。 毎月のケース会議ですべての利用者の目標を紙面で周知している
--------	--

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 目標はあるが、本人にあまり意欲がない日が多く、上手なかかわりができていない。 日々の業務で余裕がない、利用者との関わりが少なくなってしまう。 本人との会話でしたいことは聞けても、家族の想いが全職員に届いていない。 発言のない方に対して、利用者の気持ちを汲み取る努力ができていない。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) ミーティングの月間計画をたてる。(何曜日に誰をするのか具体的に)
---------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 30 年 10 月 22 日 (16 : 00 ~ 17 : 00)

3. 日常生活の支援

メンバー 大川 (祐)・伊賀・川井・斉藤・渡辺・小澤・鈴木・美幸
平山・大川 (尚)・坂庭・美千代・正田・山本

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0	3	6	5	14人

前回の改善計画	センター方式 (C-1-2) 心身の情報・私の姿と気持ちシートを完成できるように協働して1人の情報を集める。
前回の改善計画に対する取組み結果	気づきや知り得た情報は共有できている。担当職員が声に出して集めていけばもっと良くなると思う。シートを完成させることが出来なかった

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	0	2	7	5	14
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	3	10	1	0	14
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	0	5	7	2	14
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	0	11	3	0	14
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	0	10	4	0	14

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること 利用者の観察は常に意識し対応するようにしていた。帰宅願望のある時には言葉かけ・寄り添いを行う。情報があれば申し送りノートに記載する。送迎時にいろいろな話をするようにして、何気ない会話の中で知り得た情報は申し送り時に共有している。
--------	--

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 「以前の生活」は把握しきれていない。スタッフ間のコミュニケーション不足で情報を共有できていない。利用者本位であることを忘れ、自分のベースや考えで物事判断してしまうことがある。業務に追われ、新規利用者の情報把握が不十分であった。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) 事前にフェースシート等の情報にしっかりと目を通し、コミュニケーション (利用者・家族) を多くとることで、現在の暮らしを支える。
---------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 30 年 10 月 22 日 (16 : 00～17 : 00)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 大川 (祐)・伊賀・川井・斉藤・渡辺・小澤・鈴木・美幸
平山・大川 (尚)・坂庭・美千代・正田・山本

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	0	4	5	5	14人

前回の改善計画	担当者会議には担当介護士が同席し、家族の思い・利用者の希望を聞き、ケアマネと一緒に考えることができる。 全職員が一度自宅にあがってみる
前回の改善計画に対する取組み結果	担当者会議に出席できなかった。

き

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	1	10	2	1	14
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	1	9	4	0	14
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	0	7	7	0	14
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	0	6	4	4	14

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること 介護計画書作成時はケアマネに相談し一緒に考えている。 地域の方へのあいさつをかわすようにしている。送迎時等で家族と本人の様子を共有できている。 入退所時や家族が面会に来た時に、情報を得ることができた。 フェースシートや本人との会話の中で本人の生活等知ることができている。
--------	---

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 利用者と家族との意見があわず解決しにくい。家と施設での過ごし方や違う点などわかっていない。 民生委員や地域資源を自らすすんで知ろうとしていなかった。 家族に介護力があったり、元々地域との関わりのない方々には、地域との関わりを求めることができない。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内) 本人が過ごしやすいうように支援していきたい 担当者会議は担当者以外でも介護士は参加するようにする。 全職員が一度自宅にあがってみる (特に担当利用者)
---------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 30 年 11 月 13 日 (16 : 00～17 : 00)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 大川 (祐)・伊賀・川井・斉藤・渡辺・小澤・鈴木・美幸
平山・大川 (尚)・坂庭・美千代・正田・山本

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1	9	2	2	14人

前回の改善計画	全職員が「小規模多機能」の説明をできるようにする。(パンフレットを活用できる)
前回の改善計画に対する取組み結果	勉強会や交流会を行うことで理解が深まっている パンフレットを活用することで説明しやすくなった。 実際に説明する機会はなかったが、説明できると思う

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	1	7	6	0	14
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	2	10	2	0	14
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができますか?	1	8	4	1	14
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	1	12	1	0	14

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること ニーズに合わせて柔軟な支援ができている。本人や家族の急な変更希望にも対応している 体調変化に対しては継続的な観察により、今日は「何か変」の気づきができる
--------	--

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 記録を日頃から見ることができなかった。 全てではないが、その人の支援が家族への支援の方が重視されている。サービス提供量も家族の強い希望を通してしまっている。 情報共有のためのミーティングができていない。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内) 年間をとおして担当利用者の地域資源について調べたり、学ぶ時間を作る。 地域包括ケアシステムについて研修会を実施する。
---------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成30年11月13日(16:00~17:00)

6. 連携・協働

メンバー 大川(祐)・伊賀・川井・斉藤・渡辺・小澤・鈴木・美幸
平山・大川(尚)・坂庭・美千代・正田・山本

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	4	7	3	0	14人

前回の改善計画	地域の活動やイベントに積極的に利用者と参加できるようにする。 地域住民が気軽に立ち寄れる施設になるように、新しいイベントの企画 研修報告の継続
前回の改善計画に対する取組み結果	地域活動やイベントに参加できている。 回覧板を回し、季節ごとのイベントの企画ができている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	その他のサービス機関(医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所)との会議を行っていますか?	1	7	1	5	14
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	3	5	0	6	14
③	地域の各種機関・団体(自治会、町内会、婦人会、消防団等)の活動やイベントに参加していますか?	2	4	5	3	14
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	3	10	1	0	14

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること 地域住民が気軽に立ち寄れるよう、イベントを行っている。 敬老会や保育園児の慰問で地域の人たちを関わりができた。 地域に根付いたサービスを目標に、地域への発信を継続して行い、来訪者が増えている。
--------	--

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 他のサービス機関への知識がないため、連携できていない。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) 月に1回の会議では研修や地域の会議の出席報告をして、全職員に理解できるようにする
---------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成30年11月13日(16:00～17:00)

7. 運営

メンバー 大川(祐)・伊賀・川井・斉藤・渡辺・小澤・鈴木・美幸
平山・大川(尚)・坂庭・美千代・正田・山本

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0	7	4	3	14人

前回の改善計画
施設内にご意見箱を設置し、利用者・家族・職員がいつでも意見を投稿できるようにしていく。 地域へ向けての広報誌を継続して発行できる 運営会議への出席
前回の改善計画に対する取組み結果
地域へ向けての広報誌の発行は写真付きでわかりやすく発行できている。 ご意見箱は設置できなかったが、利用者ご家族からは手帳に記入してくれている

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができているか?	0	2	9	3	14
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	1	11	3	0	14
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	0	8	6	0	14
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	0	6	8	0	14

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること ご家族からの意見は申し送り等職員間共有できている。改善策も立て実行にうつすように努めている 運営会議には利用者也出席して、必ず出席者は発言できている 施設の活動や地域との交流は広報誌で発信し、事業所の様子をお知らせしている。
--------	--

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 業務に追われ、事業所のあり方について考えたり、意見をするまでには至らなかった。 管理者・リーダーは運営会議に出席しているが、業務のため他の職員が出席することができていない。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) 地域へ向けての広報誌を継続的に発行していく
---------------	-----------------------------------

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 30 年 11 月 13 日 (16 : 00～17 : 00)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 大川 (祐)・伊賀・川井・斉藤・渡辺・小澤・鈴木・美幸
平山・大川 (尚)・坂庭・美千代・正田・山本

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0	6	5	3	14人

前回の改善計画
業務の終了時にヒヤリハットを記載する時間を設ける 各職員の興味のある研修に年に1回は出席できるようにする
前回の改善計画に対する取組み結果
ヒヤリハットはその時々に記載している。安全委員が呼びかけている 研修は興味があるかわからないが、年に数回は出席している

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修 (職場内・職場外) を実施・参加していますか	3	6	4	1	14
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	2	2	5	5	14
③	地域連絡会に参加していますか	3	3	3	5	14
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	3	7	2	2	14

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	研修は充実しており、職員は参加できている。 法人・施設の研修には自分で選択し参加することもできる。 参加者はスキルアップ・資格取得の研修に参加しやすいよう、業務の配慮ができている。 事業所の会議も毎月定期的に行えている。

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	選択できる研修があるが、積極的に参加はできていないと感じる。 スキルアップが給料に反映するわけでもなく、自分の時間を作って仕事のスキルを高めようという意識が不足している。研修報告ができていないため興味をもつことができない

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
	研修に参加して知識の向上に取り組む

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成30年11月13日(16:00~17:00)

9. 人権・プライバシー

メンバー 大川(祐)・伊賀・川井・斉藤・渡辺・小澤・鈴木・美幸
平山・大川(尚)・坂庭・美千代・正田・山本

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1	4	7	1	14人

前回の改善計画
年に数回 フィッシュカード(相手の良いところ探し)を実施することで、アドラー心理学の「幸福の3原則」自己肯定感 所属感 貢献感を満たされ、職場全体の雰囲気アップを図る。
前回の改善計画に対する取組み結果
フィッシュカードは1回実践した。フィッシュカードを行うことで、職員の良い所がたくさんみつかった相手の良い所をみつけて見習うことができた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	身体拘束をしていない	12	2	0	0	14
②	虐待は行われていない	10	3	1	0	14
③	プライバシーが守られている	3	11	0	0	14
④	必要な方に成年後見制度を活用している	1	1	7	5	14
⑤	適正な個人情報の管理ができている	2	12	0	0	14

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
身体拘束・虐待は行っていない。年に1回拘束虐待の研修をおこない、職員全体で周知して取り組んでいる。 個人情報に関する紙面はシュレッターもしくは適切に廃棄できている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
職員も疲労がたまると言葉や態度にできしまう。 利用者の気持ちになって、関わることができず自分達の意志を通して、言葉を発する姿をみることが多い。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
身体拘束・虐待等の研修に参加して「利用者本位」について各々が学ぶことができる	

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人春風会	代表者	堀内 和憲	法人・事業所の特徴	高齢者・障害者・児童のさまざまな福祉サービスを展開しています。当事業所は H18 年に開設以来、地域の方や他の事業所・医療関係者の方々と連携を図ってきました。柔軟なサービスを利用しながら、在宅生活を支援しています。
事業所名	北狩野ケアセンター	管理者	山本 久恵		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	0人	1人	1人	2人	1人	0人	3人	人	9人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所評価の9つの改善計画をそれぞれの職員が2つは達成できるようにする。 ・多職種連携のためのミーティングが定着する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・改善計画に向けて各々が努力して来ましたが業務に追われてしまうことが多い。 ・ミーティングが定着できなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ミーティングは大切です。工夫をして一人ずつ・短時間でもいいから計画的に実施した方がいいと思う。 ・研修報告をして職員のレベルアップにつなげていく 	<ul style="list-style-type: none"> ・ミーティングの必要性を各職員が理解して、定着するように努力する。 ・申し送りの時間を有効活用できるようにする。
B. 事業所のしつらえ・環境	<ul style="list-style-type: none"> ・玄関は気持ちよく来所してもらえるように整理整頓を心がける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・四季折々の飾りつけをして道路を歩いていると眺めることが出来るようにしました。 ・掃除・整頓を徹底しました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・いつも綺麗になっていて、臭い等も感じない。 ・職員もいつも気持ちよく挨拶してくれます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・指摘事項はなかったが、引き続き、整理整頓に努めて季節感を感じることでできる施設環境に努める。
C. 事業所と地域のかかわり	<ul style="list-style-type: none"> ・困りごとがあった時に気軽に相談できる拠点を目指す。 ・イベントの継続と地域の方向けに普通救命講習会を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・回覧板にてお便りをだして、PR活動はできました。 ・普通救命講習会は計画のみで実施出来ませんでした。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各利用者さんの地域を把握することは大変ですが、一人ずつでも取り組んでみたらどうでしょうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・牧之郷地区との関わりは定着してきているので、このまま継続していきたい。 ・利用者さんの多い地区の情報収集ができるようにする。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・2ヶ月に1回は外出する機会を設ける。(利用者の希望により) 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月担当者が行事予定を立て、利用者とともに外出することが出来ました。多くの参加もあり、楽しい時間が過ごせてよかったです。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今年はあちこちに連れて行ってもらい、職員も大変でしょうが楽しかった。来年も継続してもらいたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・無理のないように安全に配慮しながら、利用者さんと楽しい計画を立てて、実施できるようにする。
E. 運営推進会議を活かした取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進会議にて事例検討会をおこなう。 ・職員も交替で出席。 ・敬老会前までに区長さんとの連携を図る 	<ul style="list-style-type: none"> ・月々の報告と意見交換で終わってしまいましたが、利用者さんの意見も聞くことができました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事例検討は良い事ですが、個人情報特定されないように、気をつけなければならない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年出来なかった事例検討会を実施できるようにする。 ・現場スタッフにも発言する機会を作る。

<p>F. 事業所の 防災・災害対策</p>	<ul style="list-style-type: none">・緊急時家族の連絡方法の見直しをする。・会議時防災訓練の報告を行う。	<ul style="list-style-type: none">・毎月の防災訓練は定着し、皆で協力して出来ている。	<ul style="list-style-type: none">・火災・風水害・地震それぞれに訓練していかなければならない。・災害時の対策を運営推進会議等で話し合いをする。	<ul style="list-style-type: none">・地区の防災訓練に参加し、住民との連携を図る。・ご家族・または推進会議のメンバーにも施設の防災訓練に参加してもらえるように案内状をだす。
----------------------------	---	---	---	---